

【山崎主宰の俳句】

少数派

不機嫌なむこうの闇をひきがえる

かくも長き沈黙八月の波間

あかあかと檻の三匹敗戦忌

猛暑日の一汁一菜ふと笑う

惨たりし記憶のひとつ旱雲

埃吹く町に住み古り終戦忌

晩夏晩節圧倒的に少数派

餡パンとお化けの話納涼船

石榴熟れる太陽系の端っこで

秋蟬の全身全霊人の家